

京大式

完全無欠 勉強法

4
つ
の
ル
ー
ル

「合格する勉強法は、超シンプル」

資格試験短期合格

英検合格

昇給試験

etc

京大生が使う

「受かる勉強法」

の絶対

ルール

社会人でも
超効率的に
勉強できる！

速く資格試験に

合格したい人、

暗記が苦手な人は、

「フォーマット通り」に学習すればいい！

数多くの難関国家
資格試験に合格し
英語とトルコ語と
日本語をマスターし
京大院卒生が語る

【京大式！
完全無欠勉強法】

■著作権について

「英語とトルコ語と日本語をマスターした京大院卒生が語る最短勉強法」(以下、「本テキスト」と表記)は著作権法で保護されている著作物です。

本テキストの使用に際しまして、以下の点にご注意ください。

●本テキストの著作権はすべてジョセフ・リオンに属します。

●著作権者の事前許可を得ずに、本テキストの一部または全部を、あらゆるデータ蓄積手段(印刷物、ビデオ、テープレコーダー及び電子メディア、インターネット等)により複製および転載することを禁じます。

■使用承諾契約書

この契約は、あなたとジョセフ・リオンとの契約です。

パッケージを開封することをもって、あなたはこの契約に同意したことになります。

あなたがこの契約に同意できない場合は、ただちに本テキストをジョセフ・リオンまでご返品ください。

第1条 目的

この契約書は、本テキストに含まれる情報を、本契約に基づきあなたが非独占的に使用する権利を許諾するものです。

第2条 一般公開の禁止

本テキストに含まれる情報は、著作権法によって保護され、また秘匿性の高い内容であることをふまえ、あなたは、その情報をジョセフ・リオンとの書面による事前許可を得ずして出版及び電子メディアによる配信等により、一般公開ならびに転売してはならないものとします。

第3条 契約解除

あなたがこの契約に違反した場合、ジョセフ・リオンは何の通告もなく、この使用許諾契約を解除することができるものとします。

多数の方には遵守していただいているので関係のないお話なのですが、

秘匿性の高い情報という性質上、上記は記載の必要がありますことを理解いただければ嬉しく思います。

京大式！完全無欠勉強法

目次

前書き	4
■第1章 あなたはなぜ【京大式！完全無欠勉強法】を習得する必要があるのか？	6
ジョセフ・リオンが【京大式！完全無欠勉強法】を教える理由とはなんですか？	9
■第2章 【京大式！完全無欠勉強法】とは何か？	16
■第3章 どうすれば【京大式！完全無欠勉強法】を習得できるの？	18
頭が良くなる学習法のステップ1、それは【常に違いを明確化させる】ということです。	19
頭が良くなる学習法のステップ2は、【辞書で意味・背景などを調べること】です。	21
頭が良くなる学習法のステップ3は、【その分野で成功している人に解説してもらいながら教えてもらう】ということです。	26
■第4章 何をすれば今すぐ【頭が良くなる学習法】を身につけられるのか？	29
■終わりに	44
まとめ	45

前書き

こんにちは、ジョセフ・リオンです。

このたびは、【京大式！完全無欠勉強法 PDF】をご請求いただき、有難うございます。

このPDFを読んでいるあなたは、「頭が良くなる学習法」を身につけたいと思っているのだと思います。

そして、「頭が良くなる学習法」は、このPDFを読めば必ず身につきます。

なぜなら、このPDFでは、**頭が良くなる学習法の具体的な方法論**を説明したからです。

だからこそ、「京大式！完全無欠勉強法」について学ぶ前に、「頭が良くなる学習法」を身に着けた後に何をしたいのかを考えてください。

なぜなら、「京大式！完全無欠勉強法」を習得した**【あとに何を達成したいのか】**を明確にすることが、「頭が良くなる学習法」を身につけるために、**【一番重要なこと】**だからです。

この【なぜ、それを達成したいのか？】という問いに、明確に即答できるようになっている人ほど、成功できます。

実は、成功者ほど、自分が何を欲しいのかを熟知しています。

もちろん、自分が楽しむため、ということがあると思います。

それに加えて、お世話になった人、例えば、親や おばあちゃん、先生や講師、友達に、恩返しをしたいとか、愛する家族を守るため、というふうに、理

由、目的が明確であればあるほど、その目標を簡単には諦めるわけにはいかないという感覚が強くなります。

そのため、たとえ困難に直面するようなことがあっても、それを苦勞とも思わずに、すべきことを継続しやすくなります。

逆に、この「なぜやらなきゃいけないのか？」がわからないと、人は動くことができません。

なので、「自分は【なぜ】成功してこの目標を達成したいのか？」ということを経験可能な限り明確にするようにしましょう。

この【なぜ??】さえ理解できれば、体は、自然と成功へと導かれていきます。

■第1章 あなたはなぜ【京大式！完全無欠勉強法】を習得する必要があるのか？

ここで、私、ジョセフ・リオンについて少し自己紹介したいと思います。

私は、大学生時代、薬学部薬学科で、薬学を専攻して学んでいました。

これは、もともと私は化学が好きだったのと、父が私に「大学には行ってもらうから」と言うので、大学には行かざるを得なかったからです。

それで、人体の仕組みを科学的に学ぶことができる学部で、かつ、自分の家から通えるところという条件で薬学部を受験しました。

『これからはコンピュータの時代だから』ということで数理工学、コンピュータ、プログラミングを学ぶことも必要だと思い、数理工学部も受験しました。

幸い、両方に合格したので、どっちに行こうか大変 悩みました。

ただし、薬剤師としての国家資格の受験資格は、薬学部を卒業していることが必須の条件になります。

それで、ひとまず、国家試験が取れる方ということ優先して薬学部に進学することを選ぶことにしました。

薬学部では、自分の好きな有機合成化学の研究室にて、ラジカル反応を用いた有機化学反応の研究をしていました。

薬学部を卒業して国家試験を受験して薬剤師になったあと、転部して京都大学大学院の理学研究科に進学しました。

理学研究科では、世界最高水準の電子顕微鏡を使って、結晶の構造解析をおこないながら、電子顕微鏡の装置開発にも携わっていました。

これまでに学んだ事柄は、全て、役に立っています。

危機的状況に直面しても、人体の仕組み、世界経済の仕組みなど、真理・真実知っておくことによって、少なくとも、自分や自分の親しい友人、家族を守ることができています。

これまでその分野について学んできておいて良かったなあと、つくづく思います。

真理・真実の正確な知識は、文字通り、命を救うことになっているわけです。

私は、資格を取得することが、とても楽しいので、暇を見つけては、いろいろな難関の資格を取得してきました。

よく資格マニアに対して、「手段が目的化している」というような、批判めいた意見を耳にすることがあります。

でも、私の場合はそうは思いません。

というのも、私の場合、そもそも「資格を取得する」というのが目的だからです。

何か特定の職種につくために、資格を取得しようとして、資格という手段が目的化しているという批判は、私にはあてはまりません。

だって、単純に嬉しいじゃないですか(笑)。

お金払って試験に合格したら、免許証という賞状を日本帝国政府からもらえるわけですから。

ジョセフ・リオンが【京大式！完全無欠勉強法】を教える理由とはなんですか？

私がなぜ、【京大式！完全無欠勉強法】をみなさんに知ってもらいたいのかについて、ここでご紹介します。

なぜなら、**【頭が良くなる学習法を習得すると、学習者の人生が確実に、劇的に好転・改善するから】**です。

それを是非あなたにも知っていただきたいのです。

成功は、パターンなんです。

私自身、頭が良くなる学習法を身につけるために、大量の書籍・雑誌を読み込み、動画・音声を視聴して学習してきました。

これまで読み終えた本は、3000冊は軽く超えています。

効果的な学習法を学ぶためにこれまでかけた金額は、2000万円以上です。

私は、以前、高額(19万8000円)の記憶術セミナーに参加したことがもありました。

でも、正直、この記憶術セミナーが本当に外れだったんですよ。

私は、完全にだまされました！！

そのセミナーでは、『無機質・無意味な数字のランダムな羅列を短時間の間に覚えることができる』とか、『トランプの順番を覚える』とか、『世界的な記憶力テストで好成績を修めた』とかいう宣伝文句が踊っていました。

それらにつられて、私はお金を払って受講してみました。

そのセミナーに参加して配信される動画を、私は真剣に端から端まで徹底的に見ました。

でも、これまで私が買ってきた本の膨大な量の中から、たった数冊の本の内容を単純に動画にしているだけだったんですよ。

内容がとても薄かった。

それに、内容にちょっとわからないところがあったんで、メール質問しても返事がないことが多々ありました。

もらってないメールについて、何度か催促したら、「質問の受付期間は終了しています」とかいう返事があって。

この返答には心底あきれましたね。

あれは、事務局が、返信を絶対に忘れてるんですよね。

ほんとうにあきれませんか？

だって、「記憶術を教える」事務局が、返信するのを「忘れてる」とか！

もう、ネタじゃないですか？

そりゃあ、人間なんですから、忘れることはあるでしょうよ。

でも、質問受付期間内に質問しているのに、返事を返し忘れてることに対しての回答を、「もう回答期間は終わりました」といって、回答しないというのは、受講料を払った意味が無いじゃないですか。

そんな高額セミナーに、騙(だま)されるような人を、一人でも減らしたいというのが、私の強い信念です。

また、私は今、トルコに移住していますが、はじめ、トルコに来た時、よくわからないままトルコに来てしまったという苦い経験があります。

海外で生活するということがどれほど恐ろしいものなのか、ということを知らずに来てしまいました。

それで、トルコに来てそうそう、不動産詐欺にあってしまい、そのせいで、トルコに移住することのために貯めていた貯金を大きく失ってしまったんです。

彼らは日本語で話しかけてきて、「ああ、やっぱり親日派の国で生活するって、良いもんだなあ」と思ったわけです。

向こうは3人でした。

ご飯もおごってくれたりして、「こんなにトントン拍子でうまくいくこともあるんだなあ。」と思いながら契約をして、**お金を渡したとたん、相手が一方向的に契約を破棄。**

海外で生活するためにこれまで汗水たらしてためた貯金 数百万円を一気に失ってしまいました！

本当に頭が真っ白になりましたよ。

こういう失敗だって、そもそも、なんでこんなことになったかという、私が、「外国で生活するために必要な知識を知らなかった」からなんですよ。

もし、自分がこんなことになる前に、正しい知識を知っていれば、こんな被害に遭うことはなかったわけです。

はっきりいいます。

日本人は、完全に無防備なんです。

「人類みな平等」とかいう、日本にはびこる偽りの教えのせいで、**日本人が、海外に行った時に、格好のエジキになっている**わけです。

それぞれの民族に対する対応は、平等に一律であってはならないのです。

トルコ人に対しては、トルコ人のように。

ユダヤ人に対してはユダヤ人のように。

ギリシャ人に対してはギリシャ人のように。

アメリカ人に対してはアメリカ人のように、こちらの対応を変化させなければならぬのです。

それぞれの国民性が違うわけですから、全員に対して、日本人に対するように対応していると、絶対に失敗します。

絶対に大きな損失をこうむります。

これから、日本人のグローバル化がどんどん進んでいきます。

日本人が海外に行くこと機会も、これからもっと増えて来ることでしょう。

そんななかで、正しい知識の習得方法を知らないと、被害に遭う同胞 日本人がどんどん増えることになります。

そんな悲しいことを可能な限り減らしたい。

同胞の日本人を一人でも救いたいという非常に熱い気持ちですが、私にはありません。

また、私は、さらなる身心的健康を目指して、新たな分野の医療の勉強もしたいと思っています。

それを学ぶためには、資金が必要なので、その勉強に必要なお金も稼がないといけないと思っています。

これまで、私が取ってきた資格のごく一部はこんな感じです。

・京都大学大学院理学研究科化学専攻博士前期課程修了

・薬剤師、衛生検査技師

・トルコ語の語学学校を修了

・英語教師(TESOL)、日本語教師、トルコ語教師のサーティフィケート

・消防設備士の全類(特類、甲種1,2,3,4,乙種6,7。これら全類を1年以内にとった人は、日本全国で4人も居ないといわれている超レアな免許証。

特に、特類の合格率は、2%を切ることもあることがあると言われる、超絶難関の国家資格です。)

・運転免許証:大型2種(バス)、牽引、大型自動二輪、大型特殊

(日本で走っている乗り物で、合法的に運転できないものは実質的ありません。

運転免許系は、学科試験だけでなく、実技試験にも合格する必要があります。

特に、けん引免許(トレーラー)、大型特殊(ブルドーザーなど)の実技試験は、とても難しかったです。

体で覚えないうけないといけない要素が大きかったですね。

でも、私がこれまで培ってきた頭が良くなる学習法を応用したおかげで、こういった、体を使って作業しないうけない試験にも合格することができています。）

・**甲種 危険物取扱者**（全危険物を扱うことが可能です。）

・**電験3種**（合格率は、10%未満の難関の国家資格です。）

・**電気工事士（2種）**

・**日商簿記検定 2級合格**

・**副業**:95パーセント以上の人がお金を稼げていない副業で、既に30万円、50万円、80万円の売上、100万円の売上実績あり、などなど。

次の章では、これらの資格を取る際に活用した「頭が良くなる学習法」について解説します。

■第2章【京大式！完全無欠勉強法】とは何か？

脳科学を駆使した学習法の研究が世界中でおこなわれています。

それでも、実は世界、特にアメリカの速読、多読、目標達成などに関する研究論文は、日本人に向けていないことが多いです。

というのも、欧米の文書は、発音を表記したアルファベット(表音文字)で記述されているからです。

ですので、欧米人が、読書をして意味を把握しなければならないとき、殆どの場合、一度頭のなかで、文章を音声化する必要がでてきます。

声に出して読書するにしろ、黙読するにしろ、欧米人は、一度文字列情報を、音声情報に変換する必要があるのです。

これに対し、日本語の文章表記には、表音文字と表意文字の両方が含まれています。

日本語の文章では、表音文字である、カタカナ、ひらがな、アルファベットと、表意文字である漢字の両方を使用します。

日本では、「和洋折衷」という言葉もあるとおり、それぞれの文化のいいところを取ってきて活用するという、とても有用な習慣があります。

漢字の多くは、表意文字(文字が象形文字として、写真のような意味を持つ)ので、音声化しなくても、速読、多読すること可能です。

ですので、実は、日本語の文章を短時間のうちに多量に読んで理解するというのは、欧米のアルファベット文化圏の外国人には真似できない日本人特有の特技なわけです。

これを活用しない手はありません。

そういったことも含め、私の提供している【京大式！完全無欠勉強法】というコンテンツは、日本人の特徴に特化した、日本人の、日本人による、日本人のための、つまり、あなたのための頭が良くなる勉強法になっているのです！

これまで、私自身が、効果的な勉強法、試験合格法、言語習得法について、2000万円以上の資金を投入して、大量の書籍を読み込み、高額セミナーに参加して得た内容を、ぎゅっとまとめたコンテンツを作りました。

■第3章 どうすれば【京大式！完全無欠勉強法】を習得できるの？

さて、いよいよ、お待ちかね「実際に何をすればいいのか？」という章に来ました。

頭が良くなる学習法のステップ1、それは【常に違いを明確化させる】ということです。

どういうことかというと、自分にとって、あいまいな部分を、あいまいなまま終わらせないということです。

- ・新たに学んだことと、今まで学んだことの【違い】とは何か。
- ・どちらの方が重要なのか。
- ・どちらが真理真実なのか。

常に常にそれらを明確化させるということです。

特に、日本では、間違っていることをはっきり「間違っている」といってはならない暗黙のルールが存在しますよね？

これが、日本人の外国語学習、あるいは他の全部学習の成長を阻む大きな要因の一つだと思っています。

特に、他の言語の文章を日本語にしたときに、ニュアンスが変わってしまっていたり、風味が変わったりしているところか、意味がまるっきり逆になってしまっているようなことに出くわすことがよくあります。

その間違った日本語の文章は「間違っている」と、はっきり述べることは、日本では許されていませんね？

それをしたら、日本では生きていけません。

真実を口にすると、社会から追放されてしまうのです。

特権階級に所属している人達の利権を守るために、真理真実を口にすることは、許されていないわけです。

日本では、残念ながら、『善は悪である、悪は善である、と言っている者たち、闇を光、光を闇としている者たち、苦いを甘いと、甘いを苦いとしている者たち』があまりにも多すぎるということです。

できる人、真理真実に気づいている人は、そういう巧妙な嘘に出くわすと、「これはあからさまな間違い、虚偽の推論だな！」と、すぐに気づくことができます。

でも、『この情報が間違っているんだ』という真理真実を表現することは、日本では許されていないのが現状です。

そのため原文の意味を理解できない人は、結局そういう間違った日本語の文章を読むしかなく、真理真実に接することができず、本当の意味を理解できないということになり、負のスパイラルに陥ります。

真理真実が輝き渡らないように巧妙にしかけられた、この分厚いベイルがあるせいで、我々大半の日本人が真理真実を理解することができないという、極めて悲しい状況にあるのが現状です。

そういった悲しい状況で苦しんでいる人を、ひとりでも救いたいというのが、私の真の動機、強い信念です。

何が言いたかったかというと、常に、違いを明確化する必要があるということです。【今 理解しようとしていること】と、【これまでに自分が学んできたこと】を比較し、【その違いとは何か】ということを含め、限りなく明確化させなければなりません。

次のセクションでは、頭が良くなる学習法のステップ2を扱います。

頭が良くなる学習法のステップ2は、【辞書で意味・背景などを調べること】です。

ちょっとでもわからないがでてきたら、そのままにしておかずに、【徹底的に調べる】ことです。

ステップ1で「常に違いを明確化させる」必要があることを述べましたが、そのためには、新たに学んでいることについて、わからないことがでてきたときに、違いを理解できるようになるまで、徹底的に調べる必要があります。

調べるためには辞書を使います。

よく、「辞書を使わずに前後の文脈から類推するチカラを身につけよ」とかいうことを言う人がいますが、こんなことを続けているようでは、本当には伸びません。

というのも、類推したって、結局、わからないことが、わからないままのままになってしまわないですか？

もちろん、類推するチカラが必要になるときもあります。

辞書が使えないテストの対策を取らなきゃいけないときなどはそうかもしれません。

でも、自分の知っていること思いつくこと、類推できるチカラなんて、たかが知れてるじゃないですか？

この点に関して、とても良い格言があるので、引用させていただきます。

古代ユダヤの王様ソロモンがこんな言葉を書き残しています。

「これまでであったことは、これからもあるだろう。

これまで起きたことは、また起きるだろう。

太陽のもとで、新しいことなんて、何一つない」
とのこと。

世の中、我々の知らないことだらけです。

世界の発明品だって、結局は創造物を観察して、それを模倣したにすぎません。

「これはオリジナルだ！」と主張するものがあつたとしても、それを真似る元になるものについて知らないだけです。

小説家のジョナサン・レセムもこんなことを言っています。

「何かを”オリジナル”と呼ぶやつは、十中八九、もとネタを知らないだけなんだ。」

一流のアーティストなら、無から生まれるものなんて何もないと知っている。

創作作品には必ずベースがある。

100パーセント”オリジナル”なものなんてないんだ。

自分のオリジナルをやろうとしたって、結局はベースとなるものがどこかにあるわけです。

自分が知らないことについて詳しく解説してくれている辞書って、ものすごく価値があると思いませんか？

例えば、トルコ語の辞書とかだと、普通の辞書だけで、2万円を超えるものもありますよ。

でも、2万円を出して買いました。

なぜなら、2万円の時間分、自分が作業しても、辞書は、はっきりいって、作れないからです。

例えば、時給2000円のオイシイ仕事をやったとして、2万円分稼ごうと思ったら、最低10時間は働かないといけませんよね？

10時間で、1000ページそこの辞書を作ることって、可能ですかね？

たぶん、いや、絶対に無理ですよ。

10時間で1000ページ作ろうと思ったら、1時間で10ページ書かなきゃいけないんですよ。

そこに文法的解説やら文化的背景やら、色んな書物から取ってきた例文、など入れようと思ったら、一人で辞書作ろうと思ったって、何百時間あっても終わらないでしょう。

そこで、辞書を買うわけです。

たったこれだけで、数百時間以上の時間と労力、エネルギー、資金を買い取れるわけです。

英語日本語の辞書にいたっては、2万円もしませんし、5000円もあれば、ものすごく良い辞書が手に入るじゃないですか。

これを活用しない手はありません。

加えて、私は、辞書だけでなく、**動画コンテンツも積極的に買うようにしています。**

動画コンテンツは、印刷物よりも遥かに膨大な情報を含んでいます。

動画を見て学習しなかったら理解できなかったようなことでも、たった数十分間の動画をみるだけで、数十時間、数百時間をショートカットできるようになります。

つまり、辞書を買ったり、動画コンテンツをみたりして、自分に投資するわけです。

その自己投資をしなかったら無駄にすることになったであろう、莫大な時間と労力と資金をたった数万円でショートカットすることができるようになるのです。

というわけで、頭が良くなる学習法のステップは、【辞書や動画コンテンツを使って、自己投資をおこなう】ということでした。

次のセクションでは、ステップ3として、その自己投資を、効率よく活用する方法を述べます。

頭が良くなる学習法のステップ3は、【その分野で成功している人に解説してもらいながら教えてもらう】ということです。

辞書を購入し、動画コンテンツを入手したなら、次は、手にしたそれらの宝を、実際に活用する必要があります。

どうやったらその宝を活用できるようになるのでしょうか？

そう、既にその分野で成功している人に、直接アドバイスをもらうことによってです。

もっている宝の具体的な使い方を、教えてもらう必要があります。

具体的にはどうするとよいでしょうか？

私は、その分野で既に成功している人に、可能な限り直接会いに行くようにしています。

私は、この文章を書いている時点では、トルコに住んでいます。

それで、日本でおこなわれるセミナーに参加するためには、往復の交通費だけで数十万円かかります。

もし、交通移動制限があるなどして、会うことが難しい場合は、スカイプやズームなどを使って、直接やりとりするようにしています。

相手が忙しすぎてそれも無理だ、というときは、その方が出されている動画をさらに購入して見るようにしています。

これは、ものすごく重要なことです。

なぜかというと、成功はパターンだからです。

上でユダヤの王様ソロモンが述べた格言をご紹介しましたが、成功のパターンも、結局、何かの成功のパターンの模倣にすぎません。

成功のパターンをそのままやれば、必ず、うまくいくのです。

これまで、何かのことでうまくいっていないとしたら、それは、やっている作業が、成功のパターンからはかけ離れたものなのです。

成功のパターンを知らずに、無知のまま失敗のパターンを続ければ、必ず失敗します。

単に失敗するだけでなく、多くの場合、非常に多くの時間と労力と資金を無駄にします。

人生が無駄になることだってあります。

失った時間は取り戻せないですから。

師匠のような方(メンター、アドバイザー、チューターなどいろいろな呼び名があるがそういう、正しい成功のパターンを知っている方)と直接会ったり、あるいは、スカイプやズームでやりとりさせてもらったりすると、自分がやってしまっている失敗に直結する行動を、即、見つけ出してくれて、率直に教えてくれるものです。

自分の間違った方法をやめて、正しい方法を知って実際に行動するというだけで、自分の人生の時間を何百時間、あるいは、何千時間も節約することができるわけです。

おかねは、節約した時間で働けば、自分に戻ってきます。

でも、失った時間だけは、絶対に取り戻すことができません。

過去に戻ることはできないからです。

ですので、この真理・真実に今、気づかれたあなたは、めちゃくちゃラッキーですよ。

それを知らずにずっと無駄な時間、金銭を費やすことになるという損失を回避できるわけですからね！

■第4章 何をすれば今すぐ 【頭が良くなる学習法】を身につけられるの か？

これまで述べた方法をどうすれば、今すぐ適用できるでしょうか？

その方法を私のストーリーと共に、この章でお伝えいたします。

私が初めて外国に行ったのは、私が大学に入ってからでした。

それまで、一回も海外に行ったことがありませんでした。

最近、高校の修学旅行が海外という学校もあるみたいなので、若いうちに『外国とはどういうものなのか』ということを知るチャンスがあるというのは、とてもいいことです。

ともかく、私は、大学に入る前までは、外国に行くという経験をしたことがありませんでした。

父が会社の出張で、仕事としてサウジアラビアに行くとか、ピッツバーグに行くとか、そういう話を聞いて、『そんな世界もあるんだなあ。。。』ぐらいにしか思っ
ていませんでした。

これまで、学校での私の英語の成績は、自分でいうのもなんですが、かなり良いほうでした。

それで『別に誰かと一緒に行く必要ないでしょ。一人で行けるっしょ！』という、どこから出てきたのかわからないような謎の自信に満ち溢れていました。

でも、9.11の事件があった影響で、飛行機に乗るのも、一苦勞でした。

入国審査もかなり厳しくなっていたので、入国審査を通過するのに、かなり待たされ、体力をめちゃくちゃ消耗しました。

ようやく入国審査をパスできたときには「あー、遂に、僕も外国にきてみる事ができたんだなあ」と感無量でした。

空港のビルを出たら、イエローキャブ(黄色いタクシー)が走っているじゃありませんか！

これまで映画でしかみたことのないイエローキャブでしたが、それが現実世界として目の前に広がっているということが、どうも信じられないというか、なんかいまだに未知の世界にいる感じでした。

ニューヨークでは、親切な黒人にとってもお世話になりました。

実際に行ってみて初めて知ったこともたくさんあります。

例えば、『外国でも実は、家の中で靴を脱ぐんだ』ということなどです。

アメリカでは、『ベッドの上で寝る時だけ靴を脱ぐもんなのだ』と英語の授業で教わっていたので、『学校の英語の授業で習うことと、実生活は、色々な面で乖離(かいり)があるんだなあ』ということに気づいたわけです。

それと、現地人の英語がなかなか聞き取れませんでした！

これにはショックを受けましたねー。。。。

なまじ自分の英語の学校の成績がよかったもんだから、余計にショックでした。

ニューヨークのブルックリンというところに泊まって、色々な経験をさせてもらいました。そこは、政治、経済、芸術、情報の中心地です。

もっと英語を聞き取れるようになっていたら、もっと相手の言っていることがわかって、より多くの経験をして充実した時間を過ごすことができたはずなのに！という悔しさを感じました。

それで、相手の言っていることを理解するには、英語を聞き取れるようにならないといけないという、当たり前のことに気づきました。

でも、実は、多くの人が勘違いしているのですが、単に相手の言う英語が早いからとか、語彙が少ないから聞き取れない、というわけじゃないんです。

中学生時代から、英語は発音記号通りに正確に話す癖をつけてきたのですが、英語を聞き取れるようになるには、実は、発音記号通りに音が発音されないこともしばしばあるということに気づきました。

これをいうと、「発音記号はいらないということね！」と早合点する人がいるのですが、そうではありません。

発音記号は絶対に修得しなければなりません。

問題は、発音記号を修得したあとです。

個別の単語の発音は正しくても、文中で、フレーズとして使われるときには、前後の単語に影響されて、音が変わるのです。

例えば、「BUT」という単語は、最後「t」で終わっているのですが、舌先で「t」という音を発生させるのが、その単語の発音として正しい音です。

ただし、会話で、文中に出てくる時は、その舌先で発せられる「t」の音は、ほとんどの場合、別の発音になります。

舌先ではなく、喉の奥で息を押し殺すような感じになります。

特にイギリス英語はそうです。

それと、英語には、リエゾン、またはリンキングといって、文中で並んでいる単語の語尾の子音と、語頭の母音がかっつけて発音されます。

そのくっつけて発音された音を、ナイフで切り分けるようにして区別して単語を取り出してこなければいけません。

それを意識して聞くようにすると、かなり英語が上達して、聞き取れるようになっていきます。

もし、我々も日本語をローマ字で、単語ごとにわけずに文章を表現するとしたら、非常に読みにくいじゃないですか？

どういうことかというと、一回、上の1文を、ローマ字で単語ごとに分けずに書いてみますね。

moshiwarewaremonihonngoworomajidetanngogotoniwakezunibunshouwohyoug
ennsurutositarahijouniyominikuijanaidesuka?

英語のリスニングをするときも、これと同じことをやらないといけないというわけです。

これは慣れが必要です。

どうすればナイフで切れ目を入れて、単語ごとにわけて聞けるようになるでしょうか？

まず、自分で、リエゾンまたはリンキングを発音してみるということが絶対不可欠です。

何かの語尾の子音と母音を、敢えてくっつけていってみてください。

例えば、again and again これは分けて書いたら、アゲイン アンド アゲインと表記されますが、実際には、くっつけて読まれるので、「agenandagen」となります。

無理やりカタカナで書くと、「アゲナダゲン」と聞こえます。

「ダ」も、早く言われるときには、「ナ」に近い音に聞こえます。

ですので、「アゲナナゲン」と、なります。

これを違和感なく言えるようになるまで、20回ぐらい繰り返し言ってみてください。

自分で言ってみたら初めて、ネイティブが「agenandagen」と言った時に、「あー、今『アゲナナゲン』って言ったんだな」と理解することができるようになります。

こういったことの積み重ねで、既に知っているはずの簡単な単語が徐々に聞き取れるようになっていきます。

ただ、こういったコツは、第2言語として英語を修得し、ネイティブではないが、練習して英語ができるようになった日本人に教えてもらったものです。

実は、ネイティブは、こういう説明をすることができません。

ですので、**本当に英語を聞き取れるようになりたいと思ったら、実は、ネイティブではなくて、その問題を克服できるようになった日本人に習わないといけません。**

語学だけでなく、化学系の勉強方法に興味がある人もいることでしょう。

京都大学大学院の理学研究科の入試の勉強したときについてもお伝えしようと思います。

ともかく、試験に合格するには、出題される問題に答えないとはいけません。

当たり前のことですが、これ忘れてしまっている人が非常に多いように見受けられます。

出題される問題には、傾向が必ずあります。

というのも、その選抜試験を通り抜けてきた人達を、学生として受け入れたいという出題者側の意図があるからです。

そりゃそうですね？

「最低これくらいのことには知っておいてもらわないと、困る」というラインがあるわけですね。

その最低ラインを超えれば、入試には合格できるのです。

そのためには、まず、不得意科目をなくす必要があります。

自分にとって苦手な科目というのは、それが苦手な理由が必ず何かあります。

その科目に関連して、何か嫌な思い出があるのです。

たとえば、その苦手な科目に触れる頻度が少なかったとか、いい先生に出会わなかったとか、最悪な先生にその科目を教わった、などです。

私が、化学が昔から好きだったのは、小学校の時に、両親に図鑑一式を買い与えてもらったのが大きいと思います。

学校から帰ってきたら、ずっと図鑑を眺めていました。

妹にも見せてあげたらよかったですけど、その図鑑一式は、私の部屋にあって、妹は遠慮して私の部屋に図鑑を見には来づらかったようです。

代わりに妹の部屋には、文学書物がたくさんあり、妹は、国語系の科目が非常に得意です。

ですので、何かの分野で得意になりたかったら、その分野の接触頻度をなんとかして上げる工夫をすると思います。

その図鑑一式は、当時の父親の月給を超えていたそうです。

親が私にかけてくれた教育費にはほんとうに感謝しています。

あと、経験が少ないと、「井戸の中のカエル大海を知らず」といわれるように、自分の知っているその小さな世界では確かにできているようにみえてしまうので、「自分はできる」うぬぼれてしまいがちです。

この考えは非常に危険です。

単に外国語を聞き取れないだけならそんな命の危険とまではいかないと思うかも知れませんが、実は非常に危険なんです。

英語もだいぶ聞き取れるようになって、次に私がトルコに来た時のエピソードを上でも少し述べましたが、もう少し詳しくご紹介したいと思います。

トルコに着いて、私が自分で家を借りて暮らそうと思っていた時のことです。

2人のトルコ人が、『家探し、トルコでの困っているんだったら色々教えてあげるから、大きめの部屋を借りて、空き部屋を人に貸して生活費を浮かしたらいいよ』というビジネスを持ちかけて来てくれました。

「やー、やっぱり、自分はこれまでずっと正しいことをやってきたから、恵みであるもんだなー。トルコという親日家の国で暮らすというのは、こんなに楽で、オイシイもんなんだなあ」と浮かれていました。

その親切なトルコ人と一緒に不動産屋の紹介する物件を見て回り、1年分のお金を払い、ちょっと不安もあるけれど、期待に胸膨らませていました。

ところが、どっこい。

1年分のお金を払った直後、実際自分が住むようになろうとすると、『これじゃあダメだ。もっとカネをよこせ』と言われ、ATMの引出し限度額のその日に払える分を渡したあと、彼らは対応しなくなりました。

私は、完全にだまされたのです。

そのために、約400万円を失い、汗水たらして、トルコで生活しようと思って貯めてきた資金の大半を、最初の数日で失ってしまったのです。

失ったお金を取り戻そうと色々努力しましたが、結局返ってくることはありませんでした。

今 思い出しても、ほんと、「私はあの時、何をやっていたんだ！」と思います。

これは、正しいアドバイザーに話を聞かなかった私が引き起こした悲惨な結果です。

というわけで、単に言語が聞き取れるとか、思っていることを話せるようになるとか、というだけでは、全然足りないということです。

外国の文化・習慣について、逐一、手取り足取り教えてくれる人が絶対に必要不可欠なのです。

『自分はそんなことに引っかかりはしないさ、そんな貯金もそもそもないし』とか思っていると、足元をすくわれるのです。

そういうことがあってから、ふと、ユーチューブをみていたら、**シマウマの大群が、川を渡るシーン**に出くわしました。

「あ！まさにこれだ！」と思いましたね。

何がか、というと、【川を超えて向こう岸に渡ろうとしているシマウマをエジキとして、ワニが川のなかで待ち伏せしているという構図】が、【無防備な日本人を狙う外国人の関係】そのものなんですよ。

日本人は、完全に無防備なんです！！

『川にワニが潜んでいるらしいということは、うわさで聞いてはいても、そんな悲劇がまさか自分に生じるかも』なんて、さらさら思っていない。

私もそうでした。

ワニは、獲物をより多く仕留めるために、シマウマには真理真実を伝えないように巧妙にベイルをかけています。

わざとにごった川に、ワニは潜んでいるのです。

それでも、日本人はなぜか私もそうだったように「自分が正しいことをやっていれば、自分がエジキになることはない」と思いこんでいるのです。

それでも、もし、その川に橋が、架けられていたらどうですか？

人間が工事して、川の中に入っていかに、体を濡らすことなく川を渡れることができれば、とても楽ですし、渡ってからも、長い間快適に過ごせて、川を渡ったあとに期待していた生活を送れるのではないのでしょうか？

それでもなぜか「橋なんかあっても、それでも自分は川に入っていって、その苦勞・經驗を積みたい」という人もいます。

そういう人は勝手に好きにしたらいいと思います。

でも、わたしには、同胞の日本人に、そんな思いをしてもらいたくない。

「あなたはワニに食われてほしくないのです！」

その強い思いを抱いて、こうして今、PDFを執筆しています。

あなたは、これから海外に行くことを考えているかもしれません。

あるいは、既に海外に行っているのかもしれません。

または、息子さんや娘さんなど、ご家族の誰かが海外に行っているかもしれません。

何かしら、海外に興味があるから、このPDFを読んで居るのだと思います。

このPDFに出会えたあなたは本当にラッキーです。

このPDFを読もうとしたその行動力が報われているのです。

何度でも言います。

失敗を避けるために、正しいアドバイザーが絶対に必要です。

単に自分が正しいことをしていると思っている自負心だけで行動しているだけでは、**ワニに食われておしまい**なんです。

そのあとの活動を続けることができなくなってしまいます。

そんなことにならないように、私、リオンがアドバイザーとして役に立てれば嬉しいです。

私は、莫大な時間と労力と巨額の資金を投入して川に橋を掛けました。

私の掛けた橋を上手に利用してもらえたらなあと思っています。

■終わりに

私も、本当の意味でより健康な生活を送るための新たな医療をさらに学びたいと思っています。

その勉強にはそれなりの資金も必要なので、今は仕事として、コンサルティングのビジネスをしています。

通常、コンサルは単発の場合、1時間 20万円の音声相談です。

ただ、悩み・苦勞を抱えている日本人が非常に多いので、このPDFを読んでいただいた方に限定で、リオンとの1回1時間のスカイプ音声コンサルを無料で受け付けています。

とはいえ、私のスケジュールはぎっしり埋まっていますので、そう簡単には、私とのアポは取れません。

リオンとのスカイプ音声コンサルをご希望される場合は、日時の候補を5つ挙げて、メルマガにご返信くださいませ。

無料スカイプ音声コンサルの受付を締め切ったら、受け付けられませんので、ご希望の場合は、私が受け付けているうちに、お早目に無料コンサルをお申し込みくださいませ。

まとめ

あなたは、このPDFを読んだので、【京大式！完全無欠勉強法】の全体像をつかむことができました。

あなたは既に、「頭が良くなる学習法」を実践できるようになっています。

ですので、ぜひ実践してくださいね！

頭が良くなる勉強法について、記憶に定着しやすいように、復習しておきましょう。

【京大式！完全無欠勉強法】を習得すると、人生が例外なく劇的に改善するので、頭が良くなる勉強法を習得すると良いということでした。

【京大式！完全無欠勉強法】をより効率よく習得するには、以下の3ステップが必要です。

ステップ1:ゴール・達成したい目標を限りなく明確にし、現状を把握し、問題点・悩みを明確にします。

ステップ2: 不明な点、わからないことは、理解できるまで徹底的に調べます。

とくに言語習得には、辞書や優良の動画コンテンツを活用することが、絶対不可欠です。

ステップ3: その分野で成功している人に、直接 指導・解説してもらいながら教えてもらう必要があります。

今すぐ、これらの具体的な方法を実行するために必要な客観的なアドバイスを、私 ジョセフ・リオンは、期間限定で、無料で提供しています。

ただし、上でも述べた通り、私はさらなる健康分野の勉強や、他の言語の習得に時間が必要なため、このサービスをいつまでいつまで提供できるかは、わかりません。

ですので、興味がある人は、今すぐ！にジョセフ・リオンからのメルマガに返信をお願いします！

ジョセフ・リオンのメルマガをまだお申し込みでない方は、こちらから無料でご登録くださいませ。

<https://best-home.jp/lp/mailreg/>

私の時間が取れなくなったら、この無料の相談は打ち切ります。

気になるようでしたら、今すぐご連絡ください。

私のお問い合わせページ

<https://www.best-home.jp/askcontact>

から、メッセージを送信していただいても大丈夫です。

それでは、ご連絡をお待ちしております。

ここまで読んでくださり、有難うございました。

ジョセフ・リオン

ジョセフ・リオンの【あなたのための京大式！完全無欠勉強法】ポータルサイト

<https://www.best-home.jp/>